

第14回

こども急性疾患学  
寄附講座(神戸市)公開講座



# どうする?こんなとき! けいれんと誤飲・誤嚥

日時

2016年9月3日(土)  
10:30~12:00

場所

神戸こども初期急病センター  
なぎさホール

参加費  
無料

託児所あり 申込  
締切 8月19日(金)

希望者は [pediat@med.kobe-u.ac.jp](mailto:pediat@med.kobe-u.ac.jp) までご連絡ください。



神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番1(HAT神戸内)

■阪神電車「春日野道」駅から南へ徒歩約8分

■JR「灘」駅南口より南へ徒歩18分

※満席の際には入場できない場合もございますので、ご了承ください

1) あいさつ

2) 公開講座

## 1 子どもの誤飲や誤嚥

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野  
こども急性疾患学部門

特命助教 山村 智彦

## 2 知っておきたい、 けいれんのこと

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野  
こども急性疾患学部門

特命助教 西山 将広

お問い合わせ先

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)  
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL.(078)382-6090

主催/神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)

後援/神戸市・神戸市医師会・神戸市小児科医会

## 子どもの誤飲や誤嚥

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門  
特命助教 山村 智彦

皆さんは「誤飲」や「誤嚥」と言った言葉を聞いたことがあるでしょうか。食べ物でない物を飲み込んでしまった場合や、たとえ食べ物であっても空気の通り道に誤って入ってしまった場合には症状を呈する場合がありますので注意が必要になります。どんなに気をつけていても、小さなこどもはなんでも口に入れてしまうものです。本日は、どんな物を口に入れてしまうと危険で、家庭ではどのように対応できるかについてお話したいと思います。

## 知っておきたい、けいれんのこと

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門  
特命助教 西山 将広

皆さまは、けいれんにどのようなイメージをお持ちでしょうか？発熱や咳といった症状と比べると怖いイメージをお持ちの方が多いかと思います。また、「けいれんの時の応急処置は？」「すぐに病院に行った方がいい？」「けいれんがあるとてんかんになる？」「熱性けいれん予防には解熱薬を使う方がいいの？」など様々な疑問をお持ちかもしれません。

実は、けいれんは、こどもにとって、それほど稀な症状ではありません。そこで正しい知識を得て備える必要があります。本日は、けいれんに関する知っておきたいことを、科学的なデータに基づいて、かつ、なるべくわかりやすくお話したいと思っています。